

須知高校生のみなさんへ

令和4年度 第2学期終業式 式辞

長かった約4ヶ月間の2学期がようやく終了し、明日から冬休みが始まります。2学期は須高祭、開校記念講演会、研修旅行、収穫感謝祭など多くの行事を無事に実施することができました。みなさんの協力に感謝しています。ありがとうございました。

さて、新型コロナウイルスの感染状況が11月中旬から第8波と呼ばれる状況となり、本校でも体調不良の生徒が増加してきました。今年は季節性インフルエンザとの同時流行も出てきますので、手洗い・うがいの励行をはじめ、基本的な感染防止対策を徹底するよう、引き続き協力をお願いします。

終業式にあたり、皆さんには、「内省^{ないせい}」という言葉について話をしたいと思います。「反省」という言葉は聞いたことがあると思いますが、「反省」は自分の悪かった言動を振り返ることで、「内省」は、自分の良い部分や悪かった部分も含めて、自分の言動を振り返ることです。客観的な視点から自分自身の言動を振り返り、自ら気づきを得ることを目的にしています。「内省」は日々起こった出来事に対してどう感じたか、なぜそう感じたか、なぜその行動をしたかなどを改めて深く自身に問いかけ、振り返ることで、多くの気づきが得られますので、人材育成の場面でも活用されています。「内省」をするときは、スマートフォンに書き込むのではなく、できるだけ、ノートなどに書いて欲しいと思っています。「内省」するのが、難しいと感じたら、まず、一日の行動の中で、自分自身が良かったと感じたことや気付いたことを書いてください。その後、その日をもう一度やり直せるとしたらどうしていたかについて書いてください。ノートなどに書き、自分の行動を可視化することで、今後の行動が良い方向に向かい、自分自身も成長できると思っています。

また、冬休み中は家族だけではなく、親戚や友人とも話す機会が多くなると思いますので、来年の抱負や将来についても、ゆっくり話し合っ欲しいと思います。

結びに、良い年末年始を過ごして元気な姿で3学期に再会できることを楽しみにしています。

令和4年12月20日

須知高校 校長 湯川 佳秀